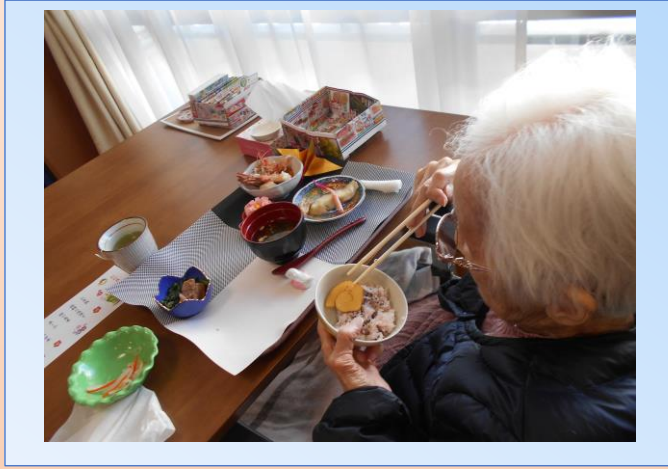


社会福祉法人  
清風会  
特別養護  
老人ホーム  
東かなまち桜園  
〒125-0041  
東京都葛飾区  
東金町  
2丁目13番10号  
03-5876-5281

2023年  
2月1日  
第92号



## 一月の桜園



一月は、一階ロビーに『桜神社』として、鳥居を設置しました。おみくじを引いたり、絵馬を書いたり、参拝気分を味わえるような空間だったと思います。その他、おせち料理を食べたり、書初めで今年の干支を書いたり、お正月らしい過ごし方が出来たと思います。

(兜森)



## 主任の眼



年が変わってから急に冷え込みが厳しくなりました。木の芽時と呼ばれるこの時期(立春から春分の日位)は体調を崩しやすいと言われています。体調管理に気を付けて暖かい春を迎えたいですね。

ユニットで仕事をしていると、日の長さが人の生活に密接に関係がある事を実感します。

特に朝起きる時間は靦面で、日の短い冬は皆様起き出す時間が遅くなる傾向にあるようです。暗くて寒い(空調で温度調整はしていますが)と起きたくなくなるのは当たり前なのだなあと思う場面でもあります。

ところで、ユニットケアの手法の一つに「シフト」があります。介護職員として働くことより理解出来る部分でもありますが、おそらく交代で二四時間働く職種のイメージより桜園のシフトは数が多いのが特徴で、早番と呼ばれる夜勤職員から引き継いで働く勤務帯だけでも数パターンあります。

これはそのユニットに暮らしている利用者様の生活になるべく職員も合わせる為の工夫です。朝早起きして自身の支度やのんびりとお茶を飲みたい方の多いユニットは、介護職員も少し早く出勤する早番を選びます。

逆に食事後、ゆったりした時間を過ごしたい方が暮らしているユニットは少し遅いシフト、というようにそこに暮らす方に合わせて職員も寄り添います。

(山田)

## スタッフ紹介



久下 介護職員

今回は4丁目一番地に勤務している久下裕太介護職員を紹介いたします。

● さくら園で仕事をしようと思ったきっかけは？

● 人材紹介会社から勧められました。

● 数ある求人の中からさくら園を選ばれた訳ですね！

● 仕事で印象に残っていること出来事は？

● 毎日がセンサーシヨナルです。1日1日が印象に残ります。

● 1日1日をとても大切にされているんですね！

● 仕事のモチベーションとなっているのは？

● 仕事にモチベーションは持ちません。「やる」それだけです。

※「やる」と言う言葉に想いが詰まっていますね！

● 仕事の疲れを癒すのは？

● 睡眠と映画を観る。

※身体の疲れと精神面の疲れのリカバリーに良いですね！

● とっておきのリラククス方法は？

● 逆に知りたいです。良い方法があったら教えてください。

※人それぞれ好きなことに没頭することでしょうか！

● お休みの日は何をしていますか？

● 映画を観る。好きな映画はスターウォーズ、帝国の逆襲

ロボコップは3が好きですけどだいたい3部作の2作目が好きです。カメラとかターミネーターとか。

※レッドクリフ・ロッキー2・学校2も良かったですよ！

● マイブームはありますか？

● カラオケでサビとか歌いたいところだけ歌うこと。

※興味がある方は何を歌っているか直接お聞きください！

● 好きな食べ物や飲み物を教えてください！

● ハンバーグ・チョコレート・ワイン・コーヒー。

※びつくりドンキーでコンプリートはいかがでしょうか！

● 尊敬している人はいますか？

● 4ー1ユニットリーダーの声のかけ方とか素敵で参考にしています。

※同じユニットのリーダーで良かったですね！(田尻・大山)

# 先月のご馳走

(元旦・おせち料理)



お正月を施設で迎えた入居者様に、おせち料理を提供。季節を感じて頂けたと思います。

昨年同様、各ユニットでは、食事を喜んでもらえる様、盛り付けに力を入れました。写真が展示してありますので、機会があったらご覧下さい。

(栄養士・日下)

# ケアマネ便り

二月に入りました。十年に一度と言われるような寒波に襲われ毎日のように冷たい風が吹いています。体調管理には十分な配慮が必要となります。コロナ感染症に加え、インフルエンザも流行する時期ですが、そのような中でも、入居者様は施設内で暖かく過ごされて行事やレクリエーションを楽しまれています。二月といえば「節分」ですね。「節分」は立春の前日にあたり、豆で鬼打ちをしたり、戸口に鯛やヒイラギをさして悪鬼を祓います。桜園でも「節分」の豆まきを行い、入居者様にも「福は内、鬼は外」と楽しく声を出して頂けました。

(介護支援専門員・滝澤淳)

# ユニット紹介～四丁目四番地～

思い出深いレクといえば、九月、ユニット内で敬老会のレクを行ったことです。

卒寿と傘寿の方のお祝いを入居者様、ユニット職員と共に過ごしました。

お祝い状とお祝い品をお渡しし、日頃あまり表情が豊かではない入居者様も嬉しそうな、少し照れくさそうな表情をされていました。

入居者様の日頃なかなか見る事の出来ない表情を見られて職員も皆笑顔になれました！

おやつには大きな紅白饅頭を美味しくいただきました。



文面から楽しそうな様子が伝わってきました。これからも笑顔が溢れる思い出に残るレクが出来たら良いですね。

(斉藤)

# 機能訓練指導員より

葛飾区の中学二年生の職場体験の受け入れがありました。男子四名が参加し、桜園内を見学したり、職員からの説明を受けました。機能訓練指導員が行う集団体操・カラオケの様子を見学し、車いすに乗車する体験をしてもらいました。中学生たちが日ごろ接することの少ない高齢者の生活の様子や病気や障害、加齢に伴い、生活がどのように変化するのか、考えるきっかけにしたいと思います。



中学生に「高齢者とは何歳位ですか？」と質問したら、「五十歳位から」と答えたことに、私は衝撃を受けてしまいました。

(伊藤)

# 相談員より

二月三日の節分を過ぎると、暦の上では春と言われていますが、まだまだ寒さも厳しく春の暖かい陽気が待ち遠しい日々です。さて節分には一般的に邪気を払い無病息災を願う意味があります。本来は年四回季節の変り目のことを指すのですが、中でも一年の始まりである春の節分が重要視され、一般的な認識として広まったそうです。季節の変わり目に体調を崩しやすいことも考えられます。

私事になりますが、先日自宅の庭で子供と久しぶりに豆まきを行いました。昔と違い、鬼の面をつけてのイベントまでは行いませんでしたが、無邪気に庭に向かって豆を投げる子供の姿を見ると、一年を健康で無事に過ごすことを願わずにはいられない気持ちになりました。

(相談員・三觜)

# 編集後記

年末・お正月と感染症が発生したユニットは防護服を都度着替えて収束するまで非常時体勢で頑張りました。お陰様で現在桜園では防護服を着て感染対応しなければならぬユニットはなくなりました。体験できないこと感染対応の大変さは理解できないことも痛感しました。お正月ぐらいは親戚一同集まって新年を祝うといったことが何のためらいもなく行えることが出来る日を待ち望んでいます。

さて桜園では新年恒例の初詣が行われました。絵馬に願い事を書き祈願された入居者様や鳥居の前で記念撮影をされました。



おみくじ・お賽銭も桜園オリジナルの物を作成しています。

田尻